

ご挨拶



神田外語大学

体育・スポーツセンター 准教授
ボランティアセンター・スポーツ通訳ボランティア推進室長

朴 ジョンヨン

Withコロナ時代において、確かにコロナウイルスは恐れるものではありませんが、感染を防ぐ医療知識や予防策とこれまでの生活様式を工夫することで、恐れず対応することができます。自粛生活が続く中、今年の講座は受講生の安全・安心を最優先に考え、オンライン・キャンパスで行うことになりました。
ノーベル平和賞受賞者でありオリンピックでもあるフィリップ氏は、「スポーツは人類最大の希望である」と述べています。この時代に生きる我々は、本講座を通じて「真のスポーツの価値」や、希望をもって生きる「リベラルアーツの学び」について共に考えていきましょう。



上智大学

学生総務担当副学長
ソフィアオリンピック・パラリンピックプロジェクト 委員長

久田 満

上智大学では、東京2020オリンピック・パラリンピックを共生社会の象徴的イベントとして捉え、本学の教育精神である「Men and Women for Others, with Others (他者のために、他者とともに)」をもって、若い世代がその理解をすすめて、東京2020大会のみならず、ボーダレスな共生社会の実現を展望する機会を提供しています。
この度の7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座では、7大学それぞれの特色を活かした講義・実習・ディスカッション等が展開され、有意義な成果が上がることを期待しております。



東京大学

大学院総合文化研究科 教授
スポーツ先端科学連携研究機構 機構長

中澤 公孝

COVID-19が私たちの生活・行動様式に大きな変革をもたらしています。スポーツも例外ではなく、その社会的意義や役割も変化させざるを得ません。時を置いてオリンピック・パラリンピックを迎える日本人は、否応なくスポーツの変化を感じ、また考える機会を与えられているのかもしれない。

この講座では、様々な側面から私たちがスポーツの関わりを問いつつ材料を得ることができます。私も皆さんとともに考えてみたいと思います。



早稲田大学

常任理事/商学学院教授
オリンピック・パラリンピック事業推進委員会 委員長

恩藏 直人

東京2020大会は、私たちが暮らす東京に世界中から人が集まり、直に交流ができる貴重な機会です。学生にとってこの大会は、「国際化」や「ダイバーシティ」を体験する学びの場となります。
「7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座」は、東京2020大会の意義やスポーツの多様性、そして広く教養を学ぶことをテーマとしています。本講座へ参加する学生一人ひとりが多角的な視点でスポーツやオリンピック・パラリンピック大会を理解し、来年の大会をより身近に感じてもらいたいと思います。



慶應義塾大学

体育研究所 所長・教授

石手 靖

ご承知のように2021年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。それに向け最近関連したイベントが数多く開催されています。本講座は、オリンピック・パラリンピックへの関心を高めること、そして、オリンピック・パラリンピックへの理解を深めることを目的としています。

学生時代に自国で開催されるオリンピック・パラリンピックをより身近な大会として迎え、楽しみましょう！



筑波大学

オリンピック・パラリンピック総合推進室長
理事・副学長(教育担当)

清水 諭

スポーツは、国や文化、年齢、性別、障がいを超えて、多くの人々が様々なかたちで楽しむことができます。スポーツ科学や体育学は複合分野ですが、本学の総合大学としての特徴を活かし、「医学・医療科学、障害科学、心理学、社会学、芸術学、情報学、工学などが連携し、先端的な学際研究を進めています。
個性や価値観の異なる多くの人々が多様なかたちで関わる可能性に溢れた東京2020オリンピック・パラリンピックは、ダイバーシティを意識し、よりよい共生社会について考えるチャンスです。本学はオリンピック・パラリンピック総合推進室を通じて、21世紀共生社会の実現を先導していきます。



立教大学

コミュニティ福祉学部教授
東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト座長

安松 幹展

昭和初期から立教大学教授として、様々なスポーツを日本に紹介しながら、若者達に希望を持たせてくれたPaul Rusch (ポール・ラッシュ) 博士は、異なる人種、言語、性別、障がいなどのあらゆる物事を、スポーツによって繋げる力を持つ人でもありました。
グローバル社会に必要な人材には、そんなスポーツがもつ力を身近に感じ、教養として身につけていくことが求められているのではないのでしょうか。来たる2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催と本講座から、共生社会を豊かにするヒントを皆さんとみつけて行きたいと思ひます。



The Sports and Liberal Arts Seminar 2020

7大学のご案内



神田外語大学

主管部署 ボランティアセンター・スポーツ通訳ボランティア推進室

アクセス 〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1



慶應義塾大学

主管部署 塾長室

アクセス 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

主管部署 ソフィア オリンピック・パラリンピックプロジェクト

アクセス 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1



筑波大学
University of Tsukuba

主管部署 オリンピック・パラリンピック総合推進室

アクセス 〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

主管部署 スポーツ先端科学研究拠点

アクセス 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1



立教大学

主管部署 東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト事務局

アクセス 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1



早稲田大学

主管部署 オリンピック・パラリンピック事業推進プロジェクト室

アクセス 〒169-8050 東京都新宿区戸塚町 1-104

※各大学の並びは五十音順です

7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座実行委員会

公式ウェブサイト: <https://7universities-sla.mystrikingly.com>

※お問い合わせは公式ウェブサイト(上記URLまたはQRコード)のフォームよりご連絡ください



大学領域を越えた、グローバル社会に活躍できる教養人の育成

7大学連携 スポーツ・リベラルアーツ講座 The Sports and Liberal Arts Seminar 2020

主催

7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座実行委員会

開催日程・会場

第1日目: 12/12(土)
会場: オンラインキャンパス (Zoom)

第2日目: 12/13(日)
会場: オンラインキャンパス (Zoom)

受講者数

200名(定員)

受講対象

大学生・大学院生



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO





Curriculum & Schedule

12.12 SAT

会場: オンラインキャンパス (Zoom)

Theme: グローバル社会におけるスポーツの多様性

開講: ガイダンス (9:00 - 9:10) 【会場: Zoomルーム1】

9:10 - 9:15	幹事校代表 ご挨拶とメッセージ 【会場: Zoomルーム1】	神田外語大学 学長 (前)三菱商事㈱代表取締役副社長 宮内 孝久	
9:20 - 9:30	特別講演: 大学スポーツが目指す 21世紀のスポーツ教育 【会場: Zoomルーム1】	大学スポーツ協会会長 前)早稲田大学総長 鎌田 薫	
9:30 - 10:40	オリンピック・パラリンピック 歴史と教育 【会場: Zoomルーム1】	筑波大学 体育系 教授 真田 久	
10:50 - 12:00	リベラルアーツとして 21世紀のスポーツとは 【会場: Zoomルーム1】	神田外語大学 体育・スポーツセンター 准教授 スポーツ通訳ボランティア推進室 室長 朴 ジョンヨン	

ランチタイム (12:00 - 13:00)

	Group 1	Group 2
自由選択科目 13:00 - 14:10	脳科学からみた パラリンピアン 【会場: Zoomルーム1】 東京大学 大学院総合文化研究科 教授/ スポーツ先端科学連携研究機構 機構長 中澤 公孝	サッカー日本代表育成チームメディカル スタッフが選手に世界へ羽ばたく活躍を 期待して試行錯誤を行った四半世紀の報告 【会場: Zoomルーム2】 立教大学 コミュニティ福祉学部 スポーツウエルネス学科 教授 加藤 晴康
14:20 - 15:10	リベラルアーツとしての音楽とは 【会場: Zoomルーム1】	神田外語大学 米国Berklee College of Music卒 全国外大連合通訳ボランティア育成セミナー講師 吉原 聡
15:20 - 16:50	オンライン学生懇親会 【会場: Zoomルーム1】	上智大学 ソフィアオリンピック・パラリンピック学生プロジェクト Go Beyond 





2日目の受講説明 (16:50 - 17:00) 【会場: Zoomルーム1】

12.13 SUN

会場: オンラインキャンパス (Zoom)

Theme: 東京2020大会の意義や21世紀のスポーツ

※ガイダンスはありません

9:00 - 9:15	幹事校代表 ご挨拶とメッセージ 【会場: Zoomルーム1】	慶應義塾大学 体育研究所所長/教授 石手 靖	
9:20 - 9:30	特別講演(ビデオメッセージ) 『東京2020大会にむけて』 【会場: Zoomルーム1】	東京オリンピック・パラリンピック担当 国務大臣 橋本 聖子	
9:30 - 10:40	アスリートに学ぶ人間力 【会場: Zoomルーム1】	2012ロンドンオリンピック 男子フルレー団体銀メダリスト 千田 健太	
10:50 - 12:00	システム思考とデザイン思考で スポーツの未来をデザインする 【会場: Zoomルーム1】	慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 神武 直彦	

ランチタイム (12:00 - 13:00)

	Group A	Group B
自由選択科目 13:00 - 14:10	東京大会に向けた ホストタウンの現状 【会場: Zoomルーム1】 内閣官房 東京オリンピック・パラリンピック 推進本部事務局 企画・推進統括官 勝野 美江	ポストコロナの 新しいスポーツの創造 【会場: Zoomルーム2】 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 稲見 昌彦
14:20 - 15:50	おもてなしと異文化コミュニケーション 【会場: Zoomルーム1】	筑波大学 客員教授 神田外語大学 キャリア教育センター 客員教授 江上 いずみ

閉講: 受講後に関する説明 (15:50 - 16:00) 【会場: Zoomルーム1】

7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座について

7大学(神田外語大学、慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、東京大学、立教大学、早稲田大学)が主催し、2018年より始まった講座です。
スポーツを軸に大学領域を越えた社会・人文・自然科学分野の幅広い教養・教育について考え、グローバル社会で活躍できる教養育成を目指しています。

昨年度(2019年度)実績

■2019年度7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座概要

第1日目: 『グローバル社会におけるスポーツの多様性』 東京大学 駒場地区キャンパス
11月30日(土) 主管大学: 東京大学



▲東京大会会場におけるアクティビティの様子

第2日目: 『東京2020大会の意義や21世紀のスポーツ』 筑波大学 附属中学・高等学校
12月1日(日) 主管大学: 筑波大学



▲筑波大会会場にて集合写真